

都が整備する競技会場の暑さ対策

アスリートや観客が快適に過ごせるよう、大会後の利活用の姿も踏まえ、組織委員会と連携しながら、引き続き暑さ対策について実施設計で検討

(競技会場における主な取組)

- 実施設計の中で、
 - ・ 建築物の熱負荷の低減(外壁等の断熱等)
 - ・ 効果的な空調方式
 - ・ 建物の屋上や壁面を緑化
 - ・ 観客利用エリアでの遮熱性舗装の導入
 - ・ 観客席への屋根の設置
 - ・ 会場周辺の既存樹木を極力保存し緑陰を確保 等

の暑さ対策を実施設計で検討

- 施工中の施設
 - ⇒ 確実にこれまでの取組を踏まえた整備を行っていく
- 実施設計中の施設
 - ⇒ 引き続き、可能な取り組みについて検討

(参考スケジュール) 別紙のとおり

都が整備する競技会場の整備状況

区分	対象施設	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	32年度 (2020)	
新設	オリンピックアクアティクスセンター	実施設計・工事					オリンピック・パラリンピック競技大会
新設	海の森水上競技場	実施設計・工事					
新設	有明アリーナ	実施設計・工事					
新設	カヌー・スラローム会場	基本設計	実施設計	工事			
新設	大井ホッケー競技場	基本設計	実施設計	工事			
新設	アーチェリー会場(夢の島公園)	盛土工事			施設設計	施設工事	
既存 (改修)	有明テニスの森	基本設計	実施設計	工事			
新設	武蔵野の森総合スポーツプラザ	工事					

テストイベント

※平成30年6月時点